

<b>科目名</b> キャリア教育論Ⅱ	<b>授業担当者</b> 渡部 暢子 小田嶋 陽子	<b>所属</b> 中通高等看護学院 中通高等看護学院	
<b>開講時期</b> :前期～後期	<b>単位数</b> :1 単位	<b>時間数</b> :15 時間	
<b>授業の目的</b> プロジェクト学習を通してパーソナルポートフォリオからキャリアポートフォリオを作成し、将来自分が目指す看護師像を描き、意志ある学びを実現する。			
<b>授業の概要</b> キャリア教育論Ⅰを基礎として、自分の資質や夢と専門性を重ね、キャリアビジョンを描き、プロジェクト学習とポートフォリオを実践します。将来自分が目指す看護師像に向かって行動することができることを期待します。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> 実習ポートフォリオの作成の仕方について理解できるようキャリア教育論Ⅰの確認をしておこう。			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1・2・3	ベッドサイドから情報を獲得できる実習にしよう！プロジェクト	プロジェクト学習	
4	ベッドサイドから情報を獲得できる実習にしよう！プロジェクト 成長報告 実習ポートフォリオについて(基礎Ⅲ実習前)	プロジェクト学習	
5・6	マイルストーン「キャリアビジョン実現！」プロジェクト	プロジェクト学習	
7・8	「自分の意志で未来を描こう！」プロジェクト 成長報告(1年生と合同)	プロジェクト学習	
<b>テキスト</b> 鈴木敏恵著 キャリアストーリーをポートフォリオで実現する 日本看護協会出版会			
<b>参考書・指定図書</b> 鈴木敏恵著 ポートフォリオとプロジェクト学習 医学書院 鈴木敏恵著 アクティブラーニングをこえた看護教育を実現する 医学書院			
<b>評価の方法</b> 情報獲得(45点)・実習ポートフォリオ(10点)・マイルストーン(35点)・成長報告(10点)			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります

## プロジェクト学習・シラバス

科目名(副題)	意志ある学び—未来教育 「ベッドサイドから情報を獲得できる実習にしよう！」プロジェクト	
講師／ファシリテーター・協力者 ほか	(スーパーアドバイザー：鈴木敏恵先生) 渡部暢子・小田嶋陽子	
単位・時間・受講対象	4月下旬～5月上旬 3コマ(6時間) 2年生	
学習概要 (社会的意義)	<p>&lt;概要&gt;</p> <p>臨地実習の限られた時間の中で、何を学ぶために実習に行き、何を獲得するのか、学生自身も目標を明確にもつことが必要となる。臨地実習では、その疾患の患者の何を見る(情報獲得)必要があるのか、そのためには何を考えて行動するのか「考動知性」について学ぶ。また、患者を把握して、状況全体を描き、“察して動ける力”を身につけることが必要である。</p> <p>R10を活用し、リアルな架空の患者を想定し、その状況から今一番必要な情報を獲得するには何を見て、どのように声をかけ行動するのかを考える。得た情報と患者がどうなって欲しいかを考え、行動に結びつけられるようにグループで考えてまとめ、発表する。</p>	
キーワード	考動知性 情報獲得 ベッドサイド キャリアビジョン キャリアストーリー	
身につく力	<p>専門知</p> <p><input type="checkbox"/>対象をイメージする力</p> <p><input type="checkbox"/>情報を見極める力</p> <p><input type="checkbox"/>根拠ある情報を獲得する力</p> <p><input type="checkbox"/>優先順位を決める力</p> <p><input type="checkbox"/>課題解決力</p>	<p>普遍知</p> <p><input type="checkbox"/>コミュニケーション力</p> <p><input type="checkbox"/>観察力 <input type="checkbox"/>俯瞰力</p> <p><input type="checkbox"/>情報を取捨選択する力</p> <p><input type="checkbox"/>多角的にものを見る力</p> <p><input type="checkbox"/>考えて行動できる力</p> <p><input type="checkbox"/>セルフコーチング力</p> <p><input type="checkbox"/>より成長しようとする意欲</p>
学習の成果物	対象患者を訪室した時の「考動知性」を考えた凝縮ポートフォリオ	
評価方法	取り組み姿勢(自己評価)・プロジェクト学習の内容 (35点) 「アクションシート」(10点) <span style="float: right;">45点/100点</span>	
実施計画／関連予定	基礎看護学実習Ⅱ：2026年5月11日～5月22日 基礎看護学実習Ⅲ：2026年6月30日～7月13日	
講義室・場所	中通高等看護学院 図書室	

<p><b>展開内容</b></p>	<p>ビジョン：実習時、ベッドサイドに行ったらどこを見ればいいかわかっている学生になりたい</p> <p>ゴール：実習時、ベッドサイドで素早く的確に情報獲得できるようになる！</p> <p>1回目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. チームテーマをもとに R10 を作成する</li> </ol> <p>2・3回目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビジョン・ゴールの確認</li> <li>2. 「考動知性」とは（講義）</li> <li>3. R10 を活用し、そのシーンで獲得すべき情報、考動知性を考える（ワーク）</li> </ol> <p>何を見て、何を考え、どのように行動するのか（ワーク）</p> <p>グーグルクラスルームにまとめる（ワーク）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. プレゼンテーション</li> <li>5. アクションシートの記入</li> <li>6. リフレクション（アクションシート）</li> </ol> <p>4回目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成長報告</li> </ol>
<p><b>テキスト・参考図書</b></p>	<p>資料 R 考動知性 アクティブラーニングをこえた看護教育を実現する 医学書院 ポートフォリオとプロジェクト学習 医学書院</p>
<p><b>履修要件</b></p>	
<p><b>他講義との関連</b></p>	<p>キャリア教育論 I ・各臨地実習</p>
<p><b>受講生へのメッセージ</b></p>	<p>臨地実習開始にあたり、看護計画立案、実習記録など大変だと思っている学生は多いと思います。このプロジェクトを通して、考動知性について学び、実習時にベッドサイドに行ったらどこを見ればいいかがわかり、的確に情報獲得をして考えて動けるようになれば、自信をもって実習に臨めると思います。それが看護計画や記録にも活かされるはずです。意識して観たものは記憶に残りやすいので、国家試験の状況設定をイメージすることにも役立つはずです！</p>
<p><b>プロジェクト学習 eラーニング</b></p>	<p>検索「未来教育オンライン講座」 <a href="http://www.mm-miraikyouiku-onlinecourse.com/">http://www.mm-miraikyouiku-onlinecourse.com/</a></p>

©2016 シンクタンク未来教育ビジョン 鈴木敏恵 All Rights Reserved.

一切の無断転載・翻訳等を禁ず。教育機関で使用される場合は、必ず出典『AI 時代の教育と評価 アクティブラーニングからアクティブシンキングへ』を明記してください。

## プロジェクト学習・シラバス

科目名(副題)	自ら学び続ける看護師になるためにー未来へキャリアストーリーを描こう！(1)ー マイルストーン「キャリアビジョン実現！」プロジェクト	
講師 ／ファシリテータ・協力者ほか	(スーパーアドバイザー：鈴木敏恵先生) 渡部暢子・小田嶋陽子	
単位・時間・受講対象	2026年10月中旬 2コマ(4時間) 中通高等看護学院 2年生	
学習概要 (社会的意義)	<p>&lt;概要&gt;</p> <p>成長へのモチベーションを高めるためにインパクトシートを共有する。シートで表現することにより、自己が叶えたい未来イメージを意識化し具体的に描くことでキャリアビジョンにもつなげることができる。</p> <p>キャリアビジョンを明確にし、課題を認識したうえで自己のキャリアストーリーを描けるように、ニーズとシーズについての講義から看護師に求められる能力(社会ニーズ)と自身が提供できる能力(シーズ)を明確に捉え、目指す看護師像に近づくためにキャリアプラットフォームを作成する。5月に作成したキャリアポートフォリオを活用し、セルフコーチングできるよう、リフレクション、リフレーミングと4つのキャリアシーンについて理解する。</p> <p>ありたい状態・目標とする姿(なりたい未来の自分)と現状とを対比させ、そのギャップを埋めるための方策を自身の意思で立て、マイキャリアストーリーの実現に向けて自身を動機づけていく。</p>	
キーワード	キャリアビジョン マイキャリアストーリー キャリアプラットフォーム ニーズとシーズ	
身につく力	<p>専門知</p> <p><input type="checkbox"/> 看護師に求められる資質に関する知識</p> <p><input type="checkbox"/> 目指す看護師になるために必要な学びや体験をイメージできる力</p>	<p>普遍知</p> <p><input type="checkbox"/> ビジョンを描く力</p> <p><input type="checkbox"/> より成長しようとする意欲</p> <p><input type="checkbox"/> 自尊感情、自己肯定感</p> <p><input type="checkbox"/> ニーズとシーズ</p> <p><input type="checkbox"/> 必要な情報を獲得する力</p> <p><input type="checkbox"/> 探究する力、行動力</p>
学習の成果物	キャリアビジョンが描ける マイキャリアストーリーの実現	
評価方法	取り組み姿勢(自己評価)・プロジェクト学習の内容 (25点) 「アクションシート」(10点) <span style="float: right;">35点/100点</span>	
実施計画／関連予定	キャリア教育論II 講義1回目～4回目 成人・老年看護学実習I・II 2026年8月31日～9月11日、9月24日～10月6日	

講義室・場所	中通高等看護学院 図書室
展開内容	<p>目的（ビジョン）：ニーズとシーズが明確になる。</p> <p>目標（ゴール）： キャリアストーリーを描ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今日の流れの説明（俯瞰シート）</li> <li>2. インパクトシート共有（プレゼンテーション）</li> <li>3. ニーズとシーズ講義</li> <li>4. ニーズとシーズ 共有</li> <li>5. キャリアビジョンシート追加</li> <li>6. キャリアプラットフォーム 記載</li> <li>7. リフレクション（アクションシート）</li> </ol>
テキスト・参考図書	キャリアストーリーをポートフォリオで実現する 日本看護協会出版会
履修要件	
他講義との関連	キャリア教育論Ⅰ・各臨地実習
受講生へのメッセージ	インパクトシートに記載することで、看護のやりがいや喜びを再発見しよう。自己が叶えたい未来イメージを意識化し具体的に描くことでキャリアビジョンにもつなげよう。
プロジェクト学習 eラーニング	<a href="http://www.mm-miraikyouiku-onlinecourse.com/">http://www.mm-miraikyouiku-onlinecourse.com/</a>

©2016 シンクタンク未来教育ビジョン 鈴木敏恵 All Rights Reserved.

一切の無断転載・翻訳等を禁ず。教育機関で使用される場合は、必ず出典『AI 時代の教育と評価 アクティブラーニングからアクティブシンキングへ』を明記してください。



講義室・場所	中通高等看護学院 教室2
展開内容	<p>目的（ビジョン）： この1年間の成長（価値ある学び）を交流し、最高学年になる自分を意識し、看護師として社会人となる自覚と責任をもてるようになる</p> <p>目標（ゴール）： この1年の成長（価値ある学び）を共有し、キャリアビジョンを描くことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今日の流れの説明（俯瞰シート）</li> <li>2. 「成長エントリーシート」の交流（1年生合同）</li> <li>3. 共有したことから「感じたこと・考えたこと」記載し、共有</li> <li>4. 長期的ループリックの記載</li> <li>5. キャリアビジョンシートの記載および交流</li> <li>6. リフレクション</li> </ol>
テキスト・参考図書	<p>キャリアストーリーをポートフォリオで実現する 日本看護協会出版会</p> <p>ポートフォリオとプロジェクト学習 医学書院</p>
履修要件	
他講義との関連	キャリア教育論 I
受講生へのメッセージ	<p>臨地実習を経て学んだこの1年間の学びを交流することで自己の成長を確認しよう。最高学年になる自分をイメージして学習を重ね、キャリアビジョンを描き、自分の望む未来に向かって自分で成長していきましょう！ 未来は皆さんのものです！</p>
プロジェクト学習 eラーニング	<a href="http://www.mm-miraikyoku-onlinecourse.com/">http://www.mm-miraikyoku-onlinecourse.com/</a>

©2016 シンクタンク未来教育ビジョン 鈴木敏恵 All Rights Reserved.

一切の無断転載・翻訳等を禁ず。教育機関で使用される場合は、必ず出典『AI時代の教育と評価 アクティブラーニングからアクティブシンキングへ』を明記してください。